

2日目は次のページ



小さいころ遊びに来ていた駅前。子どもでも楽しめる店ができれば、もっとにぎやかになるのかなあ (木田撮)



PM 4:00



安全に自転車を停めることができる屋内駐輪場  
幅広い階段がある北昇降棟  
まちの顔になった有明交流プラザ  
開発の進む駅北地区を有明連絡歩道から見る (木田撮)

PM 2:30



アドバイス前

AM 10:00



1日目

緊張する!



目線を高く



アドバイス後

有明連絡歩道などの完成で駅は便利に。でも、駅北広場付近にコンビニエンスストアがあればもっと便利かなあ (木田撮)



思っていたより長かったのでビックリ! (木田撮)

PM 2:00



# 高校生がみたまち

緑陵高校生がやって来た。

8月のある日、岩見沢緑陵高校の2年生6人が、2日間の就業体験にやってきました。今回はその一人、木田悠介君に密着し、就業体験での奮闘ぶりを紹介します。(撮影同行者 A.)

密着

## アキトキの体験

初めは、市民活動係で書類の整理を行うことに。緊張しながら、作業をしていると、時間が経つのが早く、あっという間に終わってしまいました。さあ次は、広報係。広報係では、自分の好きな場所、行ってみたい場所、気になる場所を自由に撮影することになり、すぐにデジタルカメラを持って市内へ出発。

## 中心市街地を撮影

最初に行ったところは、いつも通学の途中に、こ線橋から横目に見ていた駅北広場や有明連絡歩道。いざ写真を撮ろうと思ったら、建物が想像以上に大きく、なかなかうまく撮れません。何度か挑戦してみましたが、思うように撮影できない。そこで、困っているのを見かねて広報係が一言アドバイス。ようやく撮り終え、その後に有明交流プラザ、駅前通りへ。気になることを撮影

次は前から気になっていたところ、ごみステーションを撮ることに。通学途中に目にするごみステーションは、収集日でもないのに、ごみが置かれていることや、ごみが散乱していることも。どうして、みんなで決めたルールを守れないんだろっ? そんな気持ちも、だんだん強くなってきたが、ごみは収集された後どうなっていくのかをよく知りませぬ。そこで、ごみ処理場を見に行つて、ごみが埋め立てられている様子やペットボトルやビン・缶のリサイ

# 他の5人の様子は

## 市役所で

小川莉沙さん



税務課で、書類の整理や土地の現地確認に行きました。

和田 翼君



学校教育課で、データー入力や学校施設の改修現場に行きました。

## ふれあい子どもセンターで

山名里英さん

伊藤彩乃さん

若狭あずささん



楽しそうに子どもたちと遊んだり、紙芝居を読んだりして、子どもたちと触れ合っていました。



無事に終了!

PM 5:30



文書にするのは、難しいな~



収集日以外にごみが捨てられている! (木田撮)



僕が通っている緑陵高校 (木田撮)



これ全部がごみの山!? 今よりもみんなが環境のことに少しでも目を向けてくれれば、少しずつかもしれないけど、ごみが減らせるんじゃないかなあ (木田撮)



ペットボトルのラベルやキャップなどをはずのは大変そう (木田撮)



井上 持ち、これから自分のまちなを注意しながら見ていきたいと思います。

## 就業体験を終えて

木田 悠介

2日間、市役所の市民活動課で就業体験をして感じたことは、大変だということです。特に、広報係の仕事は、時間に追われ、色々な場所にも取材に行かなければならない大変さが身にしみて分かりました。今回、広報紙に自分の就業体験の様子を掲載するということが多くありました。その中で、今まで見落としていたまちの風景や、入ったこともない場所にも取材に出かける機会を与えてもらい、広報係の方々にはすごく感謝しています。

さんが何かできることがあるのではないかと感じたならば、行動してみてください。

今回は、就業体験にやってきた高校生の一人にしかスポットをあてられませんでした。就業体験をした他の5人も、今回の実習で学んだことや、感じたことをこれからの生活にもいかして欲しいと思います。皆さんは、高校生から見た市内をどのように思いましたか。もし、皆

市役所に戻り、今まで撮影したデーターをパソコンに保存。一枚一枚振り返りながら、自分が撮影した中で一番良い写真を選ぶ作業に取り掛かりました。撮影した写真はたくさんあり、選ぶのも大変。何より写真に添える文書を考えることに一苦労。やっとの思いで完成させると、2日間の就業体験もちょうど終わりの時間になっていました。

自分のおもいで  
クルの様子を撮ることに。